

OBI Institute
OBI
お茶の水聖書学院
NEWS

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-1
OCCビル 2F
TEL 03-3296-1005
FAX 03-3296-4641
e-mail office@obi-net.com
Web http://www.obi-net.com
お茶の水聖書学院
お茶の水聖書学院後援会

聖書は教えと訓練に 有益な書物



学院長代行 世良田湧侍

「聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです。」(Ⅱテモテ3章16節)

この聖句によると、聖書を学

ぶことは教会の奉仕者が有益な教えと訓練を受けることになると教えています。

パウロの周辺の聖書教育はおもに若者はユダヤ教式の教育に従い家庭や会堂で受けたことでしょう。

福音が明らかにになった教会

時代には、イエスの教えを受けた弟子たちの指導は教会が主要な場所であり、その中にユダヤ人のみならず聖書の背景をもたない異邦人からの回心者クリスチャンが増えていったと思われまふ。

そうした教会での奉仕は多々ありますが、パウロのような特別な使命を持つ人ばかりではなく、テモテのように忠実に指導者に仕えることによって神の御名を崇める生涯を送る働き人も数多く必要であったことでしょう。

こうして聖書によって人々が整えられることにより、信徒の働きは明らかに活発になったのですが、あえて言えば、わたしたちの時代には特に一人のパウロより三人のテモテが必要な時ではないか、また、さらにいえば、三人のテモテが与えられることにより十組のプリスキラとアクラのような家庭を持つ夫妻の働き人が必要であるともいえるでしょう。

お茶の水聖書学院はこれまでに、信徒教育を中心として、第一に主と教会に仕える働き人

の養成を目指して学院生を送りだしてまいりました。そこで学びを希望される信徒の方々は教会からお送りいただくかねばなりません。今後ともそうした学院生の募集を続けてまいりたいと存じます。入学希望者が教会から興されますようにお祈りいたしております。

「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりとやりなさい。寛容を尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。」(Ⅱテモテ4章2節)

二十一世紀は不穏な中でスタートし、十年ほど進んでまいりました。一九九一年に創立された当学院も早いもので来年には創立二十周年を迎えようとしています。過去にのみ目を留めず、主のご再臨が延びますならば、さらにこれからの時代を担う聖書を学ぶ熱心な学院生が興され、教会の宣教のみわがいたるところで活発となり、信仰の火の手が教会の中から上がってまいりますようにお祈りしてやみません。

サマースクー リングの報告

有田 貞一(3期生)
美榮子(8期生)

第14回夏季スクーリングが、
泉田昭先生を主講師にお招きし
て、7月6日(月)から8日(水)
2泊3日で軽井沢恵みシャレー
において開催されました。

初日と最終日は雨でしたが、
第二日目は快晴となりました。
爽やかな静かな環境の中で、新
聞やテレビからも解放され、聖
書の話しに耳を傾ける静かな
時が与えられましたことを心
より感謝します。

また二日目の午後はウッドシ
エッドにおいて、同窓会が持た
れ、近況報告と、来年のOBI創
立20周年記念の計画について、
話し合いが行われました。

スクーリングは、増田学院長
による開会礼拝から始まり、入
信の証し、献身の証しまた戦後
の宣教の働きからOCC設立
の経緯、さらにILLS(レイマ
ンリーダーシップセミナー)か

らOBI設立にいたるまでの
お話しがありました。ここまで
未知の道を一歩ずつ導いて下
さった神様の不思議と摂理を
深く感謝する時となりました。

続いて、泉田昭先生(練馬バ
プテスト教会名誉牧師)から「現
代におけるキリスト者の倫理」
と題して、5回にわたる講義が
ありました。

テキストとして、先生が今年
4月に著されたばかりの「クリ
スト教倫理」(いのちのことば
社)が用いられました。

キングスガーデンをはじめ
いくつかの福祉の働きの経
験を基に、詳細なお話しがあり
ました。「現代における…」と題
した「現代」をポストモダンの
時代と捉えること、すなわち新
しい時代を迎えていると理解
することが大切であると語ら
れました。またグローバルゼー
ションの時代に生きているこ
と、つまり地球全体が一つにな
りつつある時代に生きている
のだと捉えることが重要であ
るとお話しされました。そのよ
うな中であって、聖書の真理を
はつきりと受けとめ、キリスト

者としていかに生きていくべ
きか、教会はいかにあるべきか、
社会に対してなにをなしてい
くべきかといった大切なこと
が具体的に語られました。

重要なことばとして、「あ
なたがたは、地の塩です。…あ
なたがたは世界の光です。…」
(マタイ5・13・16)と「まこと
に、あなたがたに告げます。あ
なたがたが、…最も小さい者た
ちのひとりにしたのは、わたし
にしたのです。」(マタイ25・40)
の二つが、強く心に響きました。

朝の光は、藤原導夫先生によ
るローマ人への手紙8・38、39
から証しを含めたすばらしい



夏季スクーリング全体写真

お話がありました。また戸川偕
生先生より、Iコリント15・58
からお父様(二郎先生)の信仰
の証しを聞く時となりました。

スクーリング講義要旨

本科三年 中城 昭治

講義の内容は、1・人間とし
て生きる、2・生命の倫理、3・
教会の倫理、4・社会の倫理、
5・終末の倫理、の五つのテ
ーマで行われた。

1 人間として生きる

人間にとって、人間として生
きることは最も難しいことで
ある。人間の本質を知り、人間
らしく生きるために、キリスト
教倫理はきわめて重要な意味
を持つている。

(1) 人間をどのように理解するか
「聖書における人間論」から始
まり、「歴史における人間論」、
「現代における人間論」を学び、
人間は波間に漂うくらげのよ
うに漂流し、人間として生きる
ことがわからなくなっている。
伝統的な生き方にとらわれる
と真実を見失い、時代の変化に
振り回されると自分を見失っ

てしまう。

イエスは、ユダヤの激しい変化の時代の中で、神の真理と人間の真実による人間の本来の生き方を説いた。

(2) 人間はどのように生きるか
本当の自分とは、何者であるのか。本当の自分に生きるとは、どのように生きることであるのか。「自分を確立する」には、歴史の変化は激しく、社会は複雑な時代において、あらゆる状況に的確に対応して生きるためにどのように「社会に生きる」のか、終末の神が人間の歴史に直接かわる「終末に生きる」には等を学んだ。

(3) 創造的に生きる
神のかたちに創造された人間は、創造的に生きることが最も本質的な生き方である。「新しい文化を創造する」「新しい社会を創造する」「新しい世界を創造する」、神が人間にエデンの園を守り、耕すように命じられたことを考え直して生きることが大切である。

2 生命の倫理

生命科学や医学の進歩が、生命の倫理が問い直されるよう

になった。人工妊婦中絶、臓器移植、遺伝子操作、クローニング、性同一性障害、安楽死等が大きな社会問題となっている。

(1) 人間の生命をどのように理解するか
人間の生命をどのように理解するか。人間の生命の本質はなにか。生命をどのように理解するか。動物の生命と人間の生命はどのように違うのか。「聖書は生命についてどのように啓示しているか」「キリスト教は生命をどのように教えているか」「現代は生命をどのように扱っているか」「人間の生命と死をどう考えるのか。心臓停止から脳死が死の判定となった。では脳死をどのように判定するのか。多くの論議がなされている。

(2) 人間の生命をどのように扱っているのか
科学や医学は人間の生命を救うために努力を傾けてきたが、生命をどのように理解してあつかうべきかをめぐって多くの論議が行われるようになった。

「人工授精」「遺伝子操作」「クローニング」は、自然と人間に深刻な影響を及ぼすので慎

重でなければならぬ、人間に對するクローニングは、人間の人格と個性に深くかわることで、極めて慎重で、多くは禁止されている。

(3) 人間の生命をどのように守るか
人間の生命は、科学と医学によつて守られている半面、脅かされている。科学と医学はもとと倫理的には中立で、問題は人間とその倫理思想にある。生命倫理は、その立場によつて内容もきわめて多様である。

「自死」「救命」「延命」から、死、尊厳死、安楽死、人間の死とは何か、心臓の停止、脳死等、延命とは何か、その本質までさかのぼって論議し、人間の意志によつて生命を自由に操作することが、人間の生命をどのように守るかを問われている。

3 教会の倫理

教会の本質とあり方を、教会はどのようにあるべきかを聖書から学び直す必要がある。

(1) 教会とは日本語で教会は、教える会と表現され、説教は教えを説くということばで現されている。「教会とは」「教会は

礼拝する」「教会は成長する」、健康な教会は、健康な家族関係と健康な社会生活によつて成長する。そして多くの教会を産み育てる。

(2) 教会は何のために

教会は何のためにあるか。それは、イエスと使徒たちの宣教の働きにすることができ、「福音を伝える」「聖徒を整える」「社会に仕える」、教会は、社会のさまざまな問題に取り組み、貢献していかねばならない。

(3) 教会は何をするのか

教会は、その使命を誠実に果たしていくために、社会における正しいあり方を確立し、その使命を行うに相応しく自らを整え、備えなければならない。社会から遊離するのではなく、社会の中にあつて人々と共に歩んでいく必要がある。「教会の一致」「教会の宣教」「教会の貢献」について、学んだ。

4 社会の倫理

キリスト者は、社会においてどのように生き、社会にどのように貢献するべきか、聖書では「地の塩」「世の光」と語られている。

キリスト者は社会で神の民として御言葉を実践することである。

(1) 社会に生きる

キリスト者は、「社会における神の民」「社会に生きる神の民」「社会に仕える神の民」である。社会福祉などを通して社会に仕えることが、社会に生きることである。

(2) 社会における正義と自由

キリスト者は、社会における正義と自由の問題に、神のことばによつて積極的に取り組んでいき「経済的領域における正義」「社会的領域における自由」「世界的領域における平和」等から民族と文化を超えた和解する者となつて、キリストの平和が世界の平和を産み、社会における正義と自由が得られる。

(3) 社会における倫理

社会は、全てにおいて激しく変化している。「世界における変化」「社会における変化」「家族における変化」など、人間の思想は移り変わり、社会の構造は世界規模で変化している。

5 終末の倫理

終末は、この世の終わりを意

味するだけでなく、神が人間の世界に直接介入され、人類を救い、さばかれることである。

(1) 聖書における終末論

ダニエル書、エゼキエル書は、終末と神のさばきについて叙述している。「それから、終りが来る」「夜は更け、朝は近づいている」「見よ、わたしはすぐに来る」、神の都に入るために自分の衣を洗い聖める者はさ

(2) 宗教における終末思想

宗教は人間の教えを説き、人間の生き方を教え、人間に天国への希望を与える。イエスは神の視点で終末を説いた。「人間に対する幻滅」「社会に対する幻覚」「歴史にたいする幻想」、終末の近いことを知っているキリスト者は、目を覚まして神のみこころに生きなければならぬ。

(3) 終末に生きる

イエスは、終末の前兆を語り、終末にどのように生きるべきかを教えられた。「目を覚ましていなさい」「タラントを活用しなさい」「最も小さい者に仕

えなさい」、目をさまし、タラントを活用し、さばきに備える。今年の夏季スクーリングは、

キリスト者の生き方を問われる濃い内容であった。特に、生命の倫理の中で、神によつて造られ霊的な生命を与えられた人間を、医学の進歩によつて、さまざまな臓器移植のために死の判定を心臓停止から脳死と考えるようになった背景その正当性、そして、安楽死、延命治療などからも人間の生命と死をどのように考えるのか。聖書には如何示されているのかを問い直し、極めて慎重に考える必要がある、社会に生きるキリスト者は、社会の激しく変化する中でも神の民とした生き方をし、地の塩、世の光の役目として社会に仕える者となり、健全な社会となるために、教会が何をすべきかを考えさせられ、神によつて造られた人間の本质を探り、人間らしく生きるために、キリスト教倫理を、世に知らせることで教会の使命とキリスト者の生き方が、極めて重要であることを学んだ。

OBI創立20周年を迎えるに当たって

20周年記念実行委員会

委員長 三浦喜代子

OBIは1991年4月に主の不思議な導きによつてお茶の水クリスチャンセンタール内に開校いたしました。来年2010年には創立20年を迎えます。この間に170名に近い方々が規定の学びを終えて学窓を巣立ち、整えられた信徒として教会に遣わされました。また直接献身に導かれて、牧師、伝道者として宣教の第一線で主に仕えている方もおられます。OBIのモットーである【主に仕え、教会に仕える】働きが着実に実を結んでいるのがわかります。

日頃OBIに学び、あるいは祈り支えてくださっている皆様方には、ぜひ20周年を覚えていただき、ともに祈り、ともに参加して、主の恵みの軌跡をたどりながら主をほめたたえていただきたいと願っています。どうぞよろしく願っています。

学窓トピック

・聖書科・通信コース・音楽科

○2010年3月卒業予定者卒業研究指導が始まりました。

本科、梅澤近子姉、大測セツ姉、鈴木ますみ姉、高橋まりか姉、中城昭治兄の5名が、卒業研究に取り組みます。研究の祝福のために覚えてお祈りください。

なお、卒業要件は、以下のとおりになっていますので、卒業を目指される方は、ぜひ目標期間内に卒業要件を満たすようにしてください。

- (1) OBIに3年間在籍していること(有効な在籍形態になつてから3年以上で、聴講の年数は含みません)
- (2) 最低1年、本科に在籍していること。
- (3) 必要な単位数30単位を満たしていること。

旧約概観、新約概観、教会史、重要教理の4科目は必須です。また暫定措置として、マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネ、使徒の働きについての4科目を選択必

修とし、必修の代替とすることが出来ます。

(4) 卒業研究を卒業年までに提出見込みであること。

○学生証を希望者に発行しております。学生証が必要な方は、教務までご連絡ください。
(educationaldpt@obi-net.com)

○新刊・寄贈本の図書整理を進めています。貸し出しに時間がかかりますが、ご理解いただければ幸いです。

○夏季スクーリングが軽井沢にて実施されました。講師は、泉田昭先生、練馬バプテスト教会名誉牧師、日本キングスガールズ理事長「現代におけるキリスト者の倫理」をテーマに実施されました。

○10月6日(火) 18:30～19:00の日程で、第3回OCC/OBI共催による秋のボーマン・コンサートを実施いたします。千円でチケットを発売しております。ぜひ奮って参加いただきますようよろしくお願いいたします。

(教務 福井誠)

プロテスタント宣教開始

150年

横浜散策記

13期生 中島總一郎

2009年4月11日(土)、伊藤淑美師の企画・案内にて、プロテスタント宣教開始150年を記念して、横浜のゆかりの地を探訪した。参加者は同師と世良田学院長代行に卒業生と在校生を合わせて、男性5人女性6人の計11名であった。



参加者

当日は陽春の快晴で、横浜旧所名跡巡りの学習散策にとつては、最適の日であった。

朝、桜木町駅に集合後、横浜開港当時の西洋文化の匂いを残す神奈川県庁建物を左に、まずはキリスト教関連の知識を備えようと、横浜開港資料館へ向かった。

ここでは宣教のきっかけとなったペリーの黒船艦隊来日の様子を見た。鎖国中の1853年に開国を求めて、四隻の艦船でやってきたペリー提督に、慌てて、帯刀ちょんまげ姿の侍一行が威儀を正して出迎える様子を、帯同の画家の絵で見る事ができた。当時大衆が愛飲していた御茶の「じょうきせん」に引っかけ、「太平のねむりを覚ます蒸気船、たった四杯で夜も眠れず」と詠まれた句を思い出した。

風聞で描かれた何枚ものペリーの顔は、西郷隆盛に似ていたり、高い鼻と濃い眉ばかりが大きくギョロツとした目玉の怪物のようなものもあり、当時の驚きを窺わせた。

江戸幕府が1858年に日

主と教会に仕える同窓生

16期生 横田 孝子

「わたしが道であり、真理であり、いのちである。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません」 (ヨハネ14・6)

1983年5月22日遠藤増雄牧師のもと夫婦揃って同じステージで受洗へと導かれ今までの全ての罪を赦していただき26年が過ぎました。

その間三人の子供たちも次々と救われ、それぞれが主の働き人として奉仕のわざに励んでおります。また、夫の両親も80歳の時に救われ永遠のいのちの希望をいただき、平安な日々を過ごしております。

私がお茶の水聖書学院に導かれたきっかけは、今から5年前にM姉より宣教会主催の15回のレビ記の講座のお誘いを受けました。講師は遠藤嘉信先生でした。レビ記と言え、じっくり読んだこともないし、私のざる頭で付いていけるかという不安もありました。

しかし、この学びを通してレビ記の一貫した主題である「わたしが聖であるから、あなたがたも聖でなければならぬ。」と罪に汚れた人間を何とかして引き上げようとして下さり、その手段として神の命

じられたとおりになされなければならぬ。それは徹底した神への従順を学ぶためであり、自分勝手な礼拝行為をしてはなりません。

アロンの二人の息子ナダブとア

ビフも勝手な方法で礼拝をささげた時、神は彼らを焼き尽くしてしまつたのです。

私は日曜日になると当たり前のように礼拝を捧げていましたけれど、神様が特別にご臨



在なさる礼拝に一方的に招いて下さり、イエス様の十字架の贖いによつて罪赦された者として、ご自分の民の一員として加えてくださっているのだという神様の深い恵みを学ぶことができたのです。

15回の講座を終えて、また次の講座を受けたいと申し込みをしたのですけれど、宣教会の都合で中止になってしまったのです。その時から不思議なようにぼっかりと心に穴が開いたようになり、神様のご愛の深さをもっともっと知りたいという祈りへと変わっていました。

そして、2006年4月お茶の水聖書学院に導かれ学びが

始まりました。3年間の学びの中で前日までの仕事の疲労で、朝起き上がれないようなことがありましたが、夫の励ましと祈りによつて片道2時間強の道のりを何とかお茶の水までたどり着くのです。

しかし、帰りの道は不思議なように疲れはいつの間にかなくなり、心は満たされ、感謝で心が躍っているのです。ルカ24章のエマオ途上の落胆しかった二人の弟子に復活なさったイエス様が寄り添って聖書の説きあかしをなさいました。その弟子の言葉に「心はうちに燃えていたではないか。」と、まさに素晴らしい先生方のみことばのご指導のもとにあつて聖霊はみことばによつて働くことが実体験の私の証しなのです。

まだまだ神様の奥深さ、豊かさを知るにはほど遠い者ですが、これからもさらに学びを続け、イエス様のご愛の香りを放つ者となるよう願わされております。

(日本同盟基督教団古河教会員)

OBI会計報告

【業務概要】

お茶の水聖書学院は、キリスト教会の多数を占める信徒を対象とした聖書教育のプログラムを展開しております。平成17年4月より開設した聖書科通信コースで昨年初めて卒業生を送り出すことができました。さらに新年度は、学習環境の整備のため、OC208号室に、書架を設置、図書の充実に努めてまいります。これらの働きの必要が与えられておりますことを感謝しつつ報告いたします。

◎OBI献金・芳名録

(2009.4.4～8.18)

▽OBI協力献金

横田孝子・小林直子

▽特別献金

ナザレ企画

▽感謝献金

(個人) 増田誉雄・永田稔・堀肇

吉川昌広・金子誠男

(団体) ホサナキリスト教会

小金井教会(宮川浩二)

▽夏期スクーリング献金

藤原智子

OBI後援会報告

『OBIを祈り支える後援会』は発足以来、卒業生、在校生を中心に関係各位のご協力をいただいて今日に至っております。

今年も維持献金の新規申込者を募っています。御自分のうちよ銀行預金口座から、自動振替の手続きをしていただけるとたいへん感謝です。金額は一口千円からです。

ご賛同、ご協力いただける方には所定の申込書をお送りします。事務局までご一報ください。

電話 03・3296・1005

◎後援会維持会員(個人)

有田貞一 芳賀功 有田美榮子

中島總一郎 飯島多稼夫

日名富子 猪狩友行 小野沢恵子

金本悟 木下順子 国東恵子

窪井節子 小林喜久男 齊藤とし子

佐藤敬 佐野謙次 佐野寿美子

須子都 関節子 世良田湧侍

田中恵子 中川和代 浪井弘子

西満 平松庸一 福井誠

藤原導夫 増尾善文 増田誉雄

松岡常子 三浦喜代子 依田和子

目崎由紀子 森登 森本穂
宮本三枝子 植木朋子 三浦秀彌

◎後援会協力会員

(個人)

羽島明 脇坂勇 山口勝政

近藤はるみ 黒澤すぎの

(団体)

中山キリスト教会

▽夏季献金(8月15日現在)

(個人)

三浦秀彌 杉山礼子

増尾善文・邦子 滝田幸恵 森登

米田由起子 飯島多稼夫 脇坂勇

阿部幸平 中島總一郎 須子都

中川和代 増田誉雄 川村和臣

三浦喜代子 森井あずさ

日名富子 宮内芳枝 堀口容子

宮本三枝子 藤原導夫・智子

尾原光彦 平田仁美 倉内一寿

中城昭治 加茂康一 黒沢すぎの

世良田湧侍

(団体)

腰越独立教会

市川北バプテスト教会

◎紙上でご案内しましたが、20周年記念感謝献金を受け付けています。よろしくお願ひします。

第8期収支決算報告

(08年3月1日～09年2月末日)
及び第9期予算案(09年3月～10年2月)

(単位：千円)

当期収入	金額	第9期予算案	
授業料収入	9,592	授業料収入	9,600
行事収入	702	行事収入	700
献金収入	11,894	献金収入	12,000
助成金収入	3,000	助成金収入	3,000
その他収入	68	その他収入	0
収入計	25,256	収入計	25,300
当期支出	金額		
学事支出	11,533	学事支出	9,900
行事支出	758	行事支出	800
経費支出	11,678	経費支出	14,000
その他支出	988	その他支出	600
支出計	24,957	支出計	25,300
第8期収支差額	299		